

平成13年9月7日

平成14年3月期業績見通し及び中間配当の見送りについて

当社の第148期（平成14年3月期）中間決算、及び年度の業績につきまして、今般その見通しを得ましたのでお知らせいたします。

当上半期のわが国経済は、個人消費の低迷に加え、民間設備投資も落ち込み始める等景気の後退色が一段と深まっております。また、海外におきましても、米国、アジアの経済減速が鮮明になっております。

鉄鋼事業につきましては、需要が低迷する中、高い在庫水準に販売競争の激化が加わり、国内外ともに価格は低迷しており、販売環境は厳しさを増しております。

総合エンジニアリング事業につきましては、官需、民需ともに競争激化等により、依然として厳しい状況が続いております。

当中間期につきましては、当社および国内グループ会社においては厳しい事業環境の中、コスト削減を予定どおり実施し、各事業セグメントとも前回見通しどおりの収益水準を確保できる見込みです。

しかしながら、ナショナルスチール Corp.においてはコスト削減を予定どおり実施しているものの、米国市場環境回復が遅れており、業績は悪化しました。

この結果、連結業績見通しは270億円程度の経常損失、210億円程度の当期損失となる見込みであります。

下半期につきましても、引き続き厳しい事業環境が続くものと見込まれます。このような状況の下、総合エンジニアリング事業は、コスト削減等の効果により前回見通しどおりの収益を確保できる見込みです。

しかしながら、鉄鋼事業におきましては、前回見通しに対し、ナショナルスチール Corp.の業績悪化に加え、国内需要の減退、在庫調整の必要性および輸出市況回復の遅れによる当社の減益が見込まれます。

以上の結果、通期の連結業績見通しにつきましては、230億円程度の経常損失、150億円程度の当期損失と、前回見通しに比べ大幅な悪化となる見込みであります。

以上の状況から、当期の中間配当につきましては、誠に遺憾ながら、本日の取締役会におきまして、その実施を見送らせていただくことに決定いたしました。当社といたしましては、配当可能な収益構造の確立と連結財務体質の改善に向け、引き続きグループ全体として全力をあげて取り組んでまいり所存ですので、皆様におかれましては、何とぞご理解賜りたくよろしくお願い申し上げます。

(単位：億円)

		売上高		経常利益		当期利益	
		中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期
連結	今回見通し	7,600	16,900	270	230	210	150
	前回見通し (平成13年5月24日)	7,900	17,600	230	200	190	50
	(参考)前期実績	7,883	17,872	107	430	116	969
単独	今回見通し	4,500	9,800	0	110	40	0
	前回見通し (平成13年5月24日)	4,500	10,000	0	300	50	50
	(参考)前期実績	4,474	10,101	161	474	31	15

本件に関するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

NKK 秘書部広報企画グループ : 03-3217-2123